キャリア支援とAIの協働による新しい職業リハビリテーションの可能性 ①

ーAI雇用支援ツールの構築についてー

○ 佐藤　陽　(富士通株式会社　富士通研究所　データ＆セキュリティ研究所)
織田　靖史　(県立広島大学　保健福祉学部保健福祉学科作業療法学コース)
湯田　麻子　(一社　職業リハビリテーション協会)
宇野　京子　(一社　職業リハビリテーション協会　理事)
松為　信雄　(一社　職業リハビリテーション協会　代表)

本発表の目線合わせ

◇国の動向
・DXやAI技術の進展により、キャリアコンサルタントには「解決型」支援だけでなく
「開発型」支援が求められる と強調される。
――厚生労働省「経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングの実現に関する研究会 中間とりまとめ（案）」
2025年6月20日提示

◇対人支援職の大切な個性
1. **人間性と専門性の融合**
   対話を通じて自己理解と意思決定を支援する専門職である
2. **多様な領域での活躍**
   企業・教育・医療・福祉・地域支援など、領域横断的に活動する
3. **テクノロジーとの協働**
   相談者との**「創造的な対話」に集中できる環境づくり** を担う

本発表は、AIの可否を問うものではない。また、人間かAIかの選択を迫るものではない。
研究や実践活動の中でより深く**「人間同士の対話を大切にする」** ために、AIをどう活用するか、
その**「理論と企業実績」** をご紹介しつつ、ご参加の皆様と創造的に対話を紡ぎたい。

安定した社会経済システムを前提とした、旧来の支援モデル。

予測不可能で不安定な現代。旧来の前提が崩壊した世界。

NotebookLM

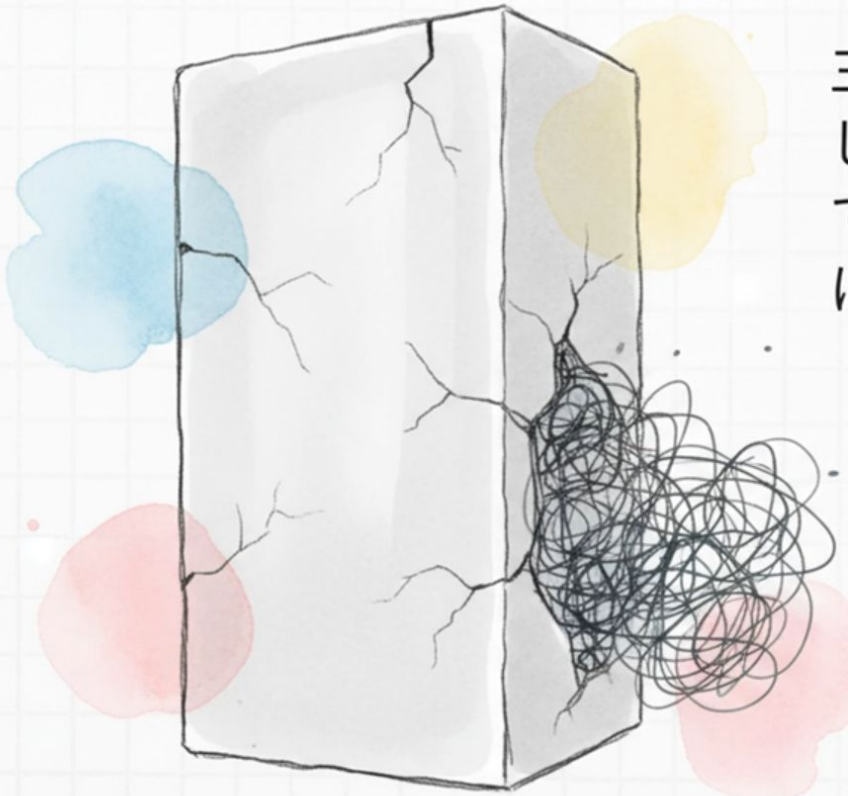
後戻りできない三つの変化

慢性的な労働力不足

働き方の多様化

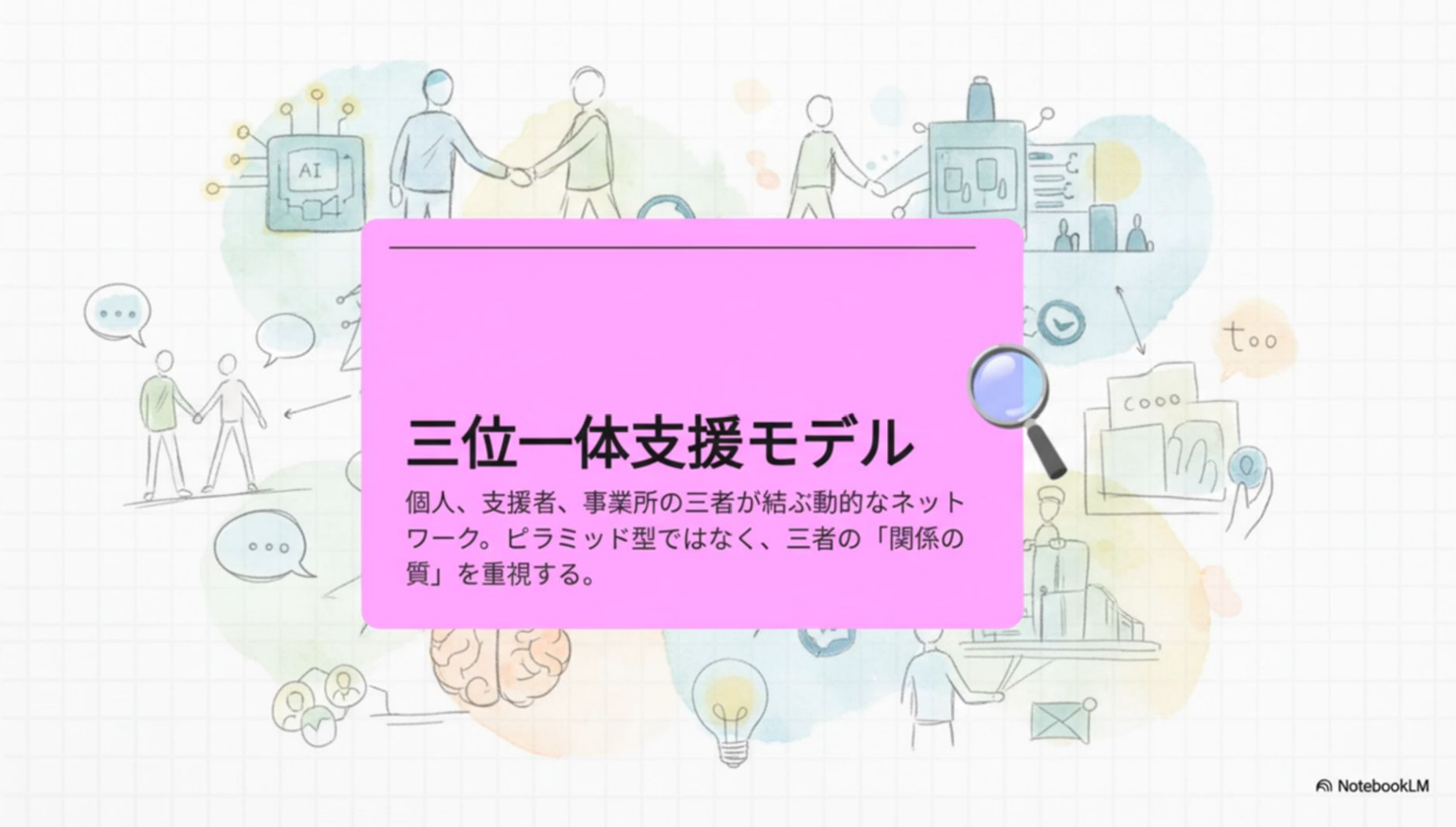
破壊的技術の**台頭**

NotebookLM



三つの変化は触媒として機能し、旧来モデルが元々内包していた構造的欠陥を白日の下に晒したのです。

NotebookLM


AI
三位一体支援モデル
個人、支援者、事業所の三者が結ぶ動的なネットワーク。ピラミッド型ではなく、三者の「関係の質」を重視する。
NotebookLM

Manager

経営者：特定の個人。トップダウンの階層構造を想起させる。

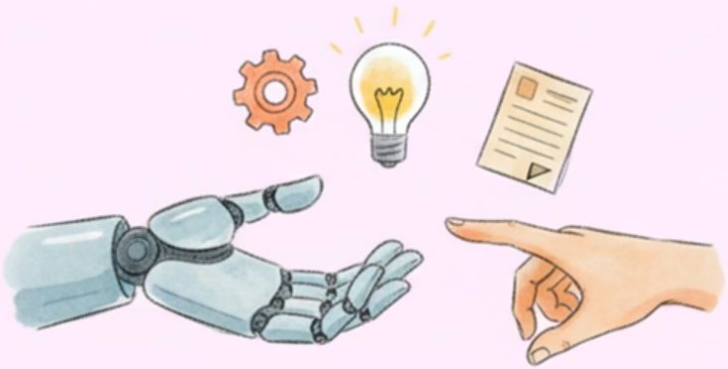
Workplace

事業所：働く環境の総体。質の高い雇用環境を**共創**する対象。

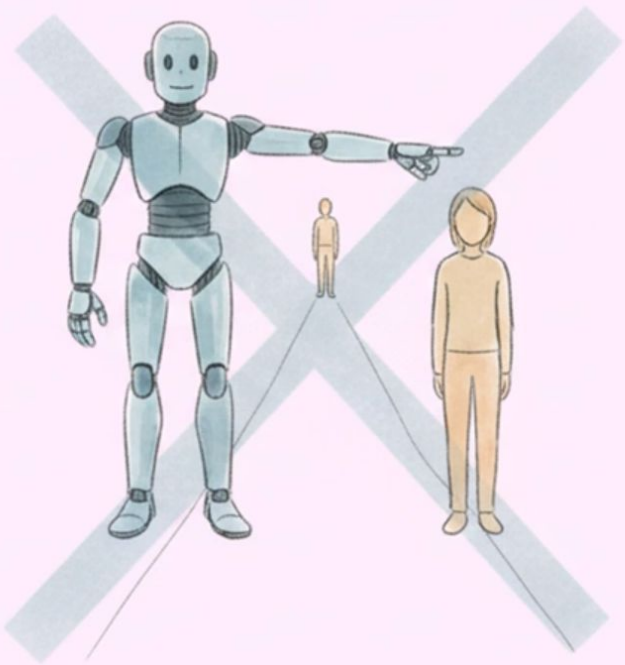
NotebookLM

段階	AIの役割	人間の活動	信頼の対象	信頼の種類
1. 情報拡張	情報提供者	個人の意思決定	AIの正確性	技術的信頼
2. 相互作用	共有ワークスペース	他者との対話	他の参加者	関係的信頼
3. 自己組織化	内省を促す鏡	協働の改善	システムと関係性	深い関係的信頼

NotebookLM



補助者 (Assistant): 人間の判断を補助する。最終責任は常に人間が負う。

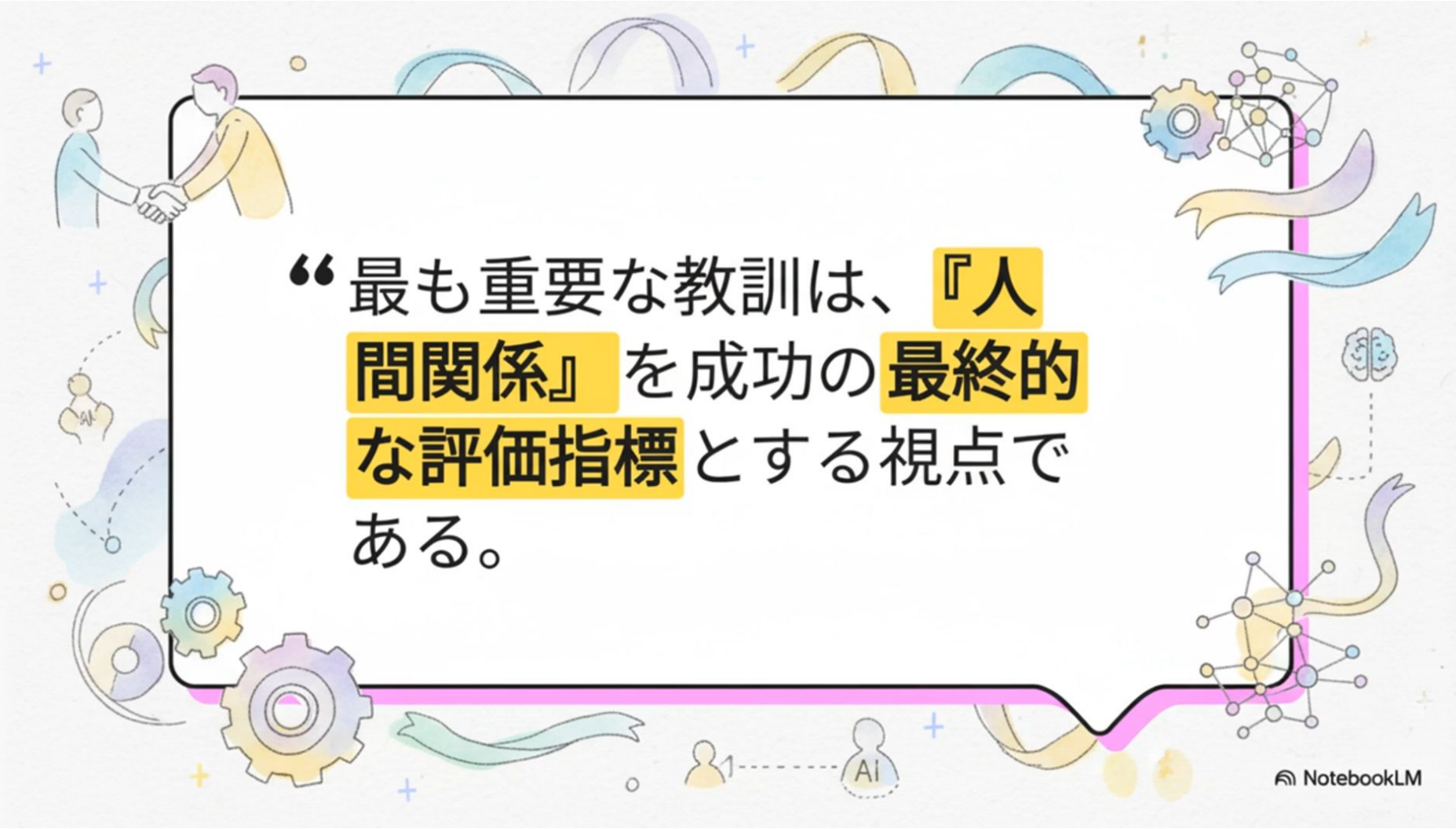


NotebookLM

パイロット研究：4つの成果

NotebookLM

目標は、完璧なAIを作ることではない。不完全なAIを使い、人間がより完璧に近い支援システムを築くことだ。
NotebookLM


“最も重要な教訓は、『人間関係』を成功の最終的な評価指標とする視点である。
AI
NotebookLM